

# 令和6年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<西濃地区> 揖斐川町立揖斐川中学校・揖斐川町立北和中学校・揖斐川町立谷汲中学校・岐阜県立揖斐高等学校

## 1 連携型中高一貫教育の目標と重点

### (1) 連携型中高一貫教育の目標

地域に根ざし、豊かな個性と主体性をもった人材の育成

【中学校】意欲的に学習に取り組む 仲間と協力し、助け合う 地域に誇りを持ち、貢献する

【高等学校】自ら学び、学力を高める さまざまな人と協力し合う 地域での役割を担い、貢献する

### (2) 連携型中高一貫教育の令和6年度の重点

『地域の教育力の向上』を目指して

- ・中高連携の活動と指導の充実を図るとともに、活動の精選を図る
- ・本事業の一層の理解を求めて、地域との関わりを充実させる

## 2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
確かな学力の育成	揖斐Basic 学習面談	<p>&lt;揖斐Basic&gt;</p> <p>○朝の会前やLHR等の時間にテキストを使った学習を計画的に位置付け、継続して取り組むことで、進学に向けて必要な学力の向上、高校での学習内容の理解をさらに深めることにつながった。</p> <p>○個々の学力や進路希望にあった学習をできるようにするために、教え合いの時間を確保することや、取組表を活用して苦手な分野を把握して復習することなどで改善を図った。</p> <p>&lt;学習面談&gt;</p> <p>○今年度は中学校3年生の揖斐高校への進学希望者を対象に、10月に一度のみ実施。揖斐高校での面談であったため、進学を希望する生徒にとっては進学に対する思いを固めるよい機会となった。</p> <p>▲面談の対象者を揖斐高校への進学希望者のみとしたため、中学校からはより多くの生徒を対象にしたい、という意見もある。</p>
	サマースクール	<p>○揖斐高校を選択肢の一つとして考えている生徒を参加対象としたことで、ポイントを絞った指導ができ、入試に向けたよい意識付けができた。</p> <p>○教科の学習方法についてのアドバイスや、入試対策、高校での学習内容を含めた講義がなされており、生徒の学びへの意欲を高めた。</p>
	中高の教師の交流	<p>○高校の教師が中学校の授業に入ることで中学生の実態把握ができた。また、中学校の教師が高校進学後の姿を継続して見届けることができた。</p> <p>▲交流することを目的とするのではなく、交流に行って何をやるのかをより明確にしたり、立場を活かして工夫ある活動を仕組んだりする必要がある。</p>



【揖斐 Basic】



【学習面談】



【サマースクール】

<p>学びに向かう力の育成</p>	<p>体験学習や 学習成果発表会への参加</p>	<p>&lt;体験学習&gt; ○中学2年生が高校で体験学習に参加し、高校の雰囲気や職業科の学習に触れることは、早い段階から進路について考え始めるよい機会となった。 ○高校生が学習したことをもとに作業の進め方などを優しく丁寧に教える姿は、中学生のよい手本となった。また、高校生にとってもこれまでの学習を振り返り、自信をもつことにつながった。</p> <p>&lt;学習成果発表会&gt; ○中学生には、高校3年間で先輩方がどのような勉強をしてどんなことができるようになったかを具体的に理解することができた。また先輩方の堂々と発表する姿にあこがれをもち、自身の高校生活や将来に向けての考えをより明確にする機会となった。 ○高校生には、中学生や保護者、地域の方に自身の3年間の学習について発表することで、3年間の学びや成長について振り返り、卒業後への決意を固める機会となった。</p>	 <p>【体験学習】</p>  <p>【学習成果発表会】</p>
<p>地域に貢献する態度の育成</p>	<p>地域における 中高生の 活躍の場の 位置付け</p> <p>地域との連携</p>	<p>○町青少年育成大会では、高校生が司会進行、ステージ転換、運営補助で活躍し、大役をやり終えた満足感、達成感を感じることに繋がった。 ○「いびがわマラソン」では、ボランティアとしてたくさんの中高生がドリンクや参加賞の配付、ランナーの誘導などで大会を支えた。ランナーからたくさんの温かい声をいただき、自己有用感を高めることに繋がった。</p> <p>○街頭啓発活動でのMSリーダーズ（高校生）やMSJ（中学生）の参加が定着した。 ○地域の公民館まつりや運動会などにおいても、中高生が役員として活動し、地域の活性化の一助となった。 ○揖斐高校のデュアル系列の3年生が、毎週水曜日に町内外の企業で実習を行った。実際の仕事を体験させてもらうことで、働くことの楽しさや苦勞を感じ取り、将来の目標をより明確にするとともに、コミュニケーションの大切さなど、さらに伸ばしていかなければならない力を明確にすることができた。 ○中学生19名、揖斐高生3名が参加した揖斐川町中高生海外派遣事業では、セントジョージ市のミドルスクールにおいて、現地の生徒と授業を一緒に受けたり、お互いの町や学校について紹介し合ったりした。現地の生活や文化について学ぶことを通して、改めて日本や揖斐川町のよさに気付くとともに、より広い視野で物事を考える力を伸ばすことができた。</p>	 <p>【いびがわマラソンボランティア】</p>  <p>【街頭啓発活動】</p>  <p>【デュアル実習】</p>
<p>保護者・地域住民の啓発</p>	<p>保護者・地域住民の啓発</p>	<p>○町の広報誌「広報いびがわ」、新聞各紙で中高生の活躍を地域住民に伝えた。 ○各学校の通信で、学校での取り組みの様子、サマースクールや体験学習の様子などを保護者に伝えることで、中高一貫教育に関しての理解を深めることができた。 ○揖斐高校のWebサイトでも行事を連絡するなど、広く周知を図った。 ▲保護者・地域住民への理解を深めるために、行事に保護者や地域の方の参加を促していく。</p>	<p>7月23日（火）、揖斐高等学校で体験学習が行われ、町内の中学2年生、52名が参加しました。 中学生は普通科ビジネス系にて電話対応の体験、生活デザイン科の4コースでは小物作りやマジパン細工などを体験したり、授業後には、部活動にも体験入りしました。 高校の特色ある授業や部活動、また丁寧に教えてくださる先輩の姿などから、どの生徒も自分の進路について、考えを深めていました。</p> <p>【町広報誌より】</p>